

年 組 名前：

勝沼中生今年は傘かけ

デラ農家減少で内容変更

甲州・勝沼中の2年生64人は13日、同市勝沼町内で、ブドウの農作業体験をした。同校では50年以上にわたってデラウエアのジベレリン処理体験を行ってきたが、栽培する農家の減少に伴い、内容を衣替えしブドウの傘かけなどを体験した。

同市勝沼町菱山の飯塚利之さん(41)の畑では、生徒11人が露地栽培のデラウエアの傘

かけを体験。生徒は飯塚さんに作業方法を教わりながら、1房ずつ丁寧に傘かけをした。他の畑では、巨峰のジベレリン処理を体験する生徒もいた。

初めて傘かけをしたという清水晴さんは「傾斜のある畑で、上を向いて作業するのは大変だった。おいしいブドウに育ってほしい」と話した。生徒の受け入れを5年ほどし

ている飯塚さんは「内容に関わらず、作業に携わることが地元の特産品であるブドウの理解につながる。子どもたちの経験のためにも協力していきたい」と語った。

市農林振興課によると、同校では市の基幹産業であるブドウ栽培への理解を深めることを目的としたデラウエアのジベレリン処理体験を50年以上前から続けてきた。しかし、デラウエアを栽培する農家の減少で体験の受け入れ先確保が難しくなったことから、本年度から作業内容を房の傘かけや袋かけ、他品種でのジベレリン処理などに変更した。体験は14日も行う予定。

〈鈴木なつ美〉

(2024年6月14日付 山梨日日新聞 18面)

問1

今年、甲州・勝沼中の2年生は、どのようなブドウの農作業体験をしましたか。

.....

問2

昨年までの作業から変更した理由を教えてください。

.....

問3

甲州市農林振興課は、この農作業体験を、どのような目的でおこなっていると話していますか。

.....